

U-ウェッジフレーム

計測マニュアル

令和 4 年 4 月

東京ファブリック工業株式会社

※ 計測要領については、動画説明もございます。
右のQRコードを読み取ることで、YouTube動画が再生できます。



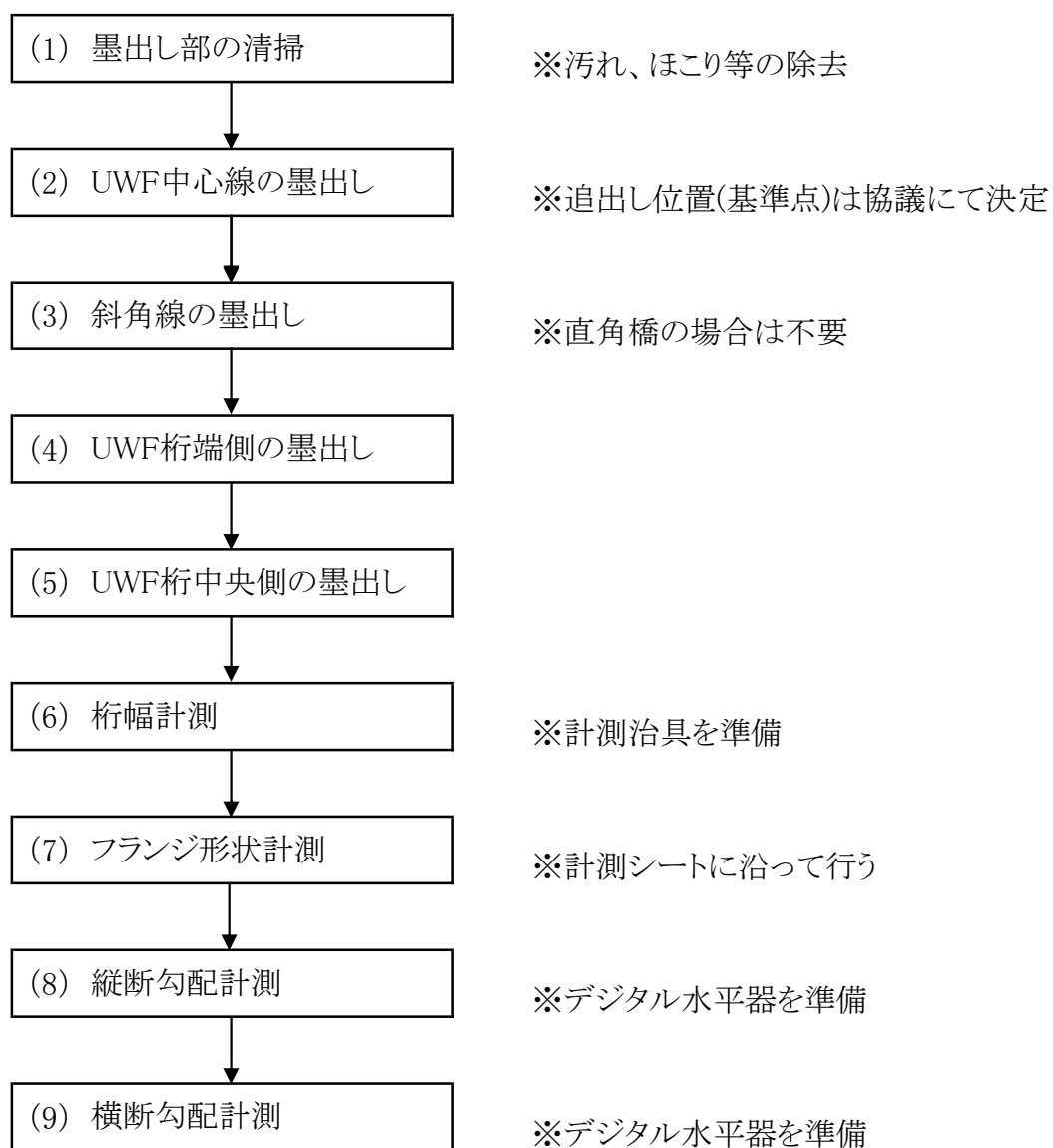
目 次

1	準備する物	1
2	計測フローチャート	2
3	墨出し要領(基準線)	3～4
4	計測要領(主桁)	5
5	計測要領(クサビ部)	6
6	既設桁形状記録シート	7
7	クサビ部記録シート	8
8	現場平面図	9
9	製作(設計)概念	10

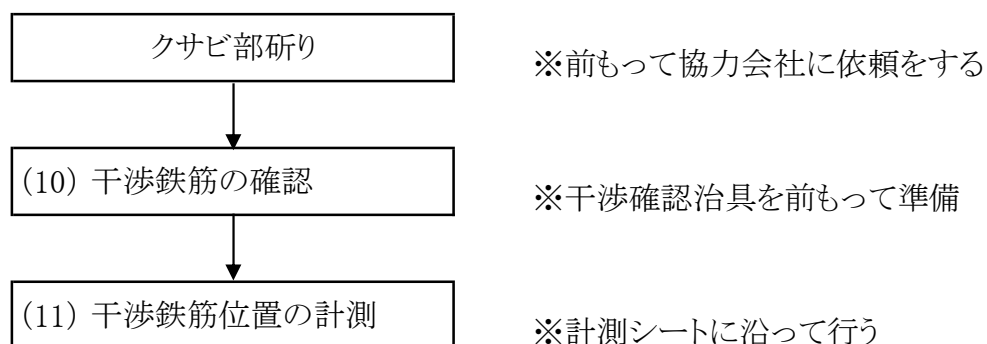
1. 準備する物

NO	名称	数量	用途	備考	✓
1	カメラ	1	現況写真撮影(検証用)		
2	墨ツボ	2	墨出し用	複数色	
3	野書ペン	3	野書用	複数色	
4	三角定規(斜角)	2	墨出し用(都度製作)	斜橋の場合	
5	L型定規(90°)	1	墨出し用	桁側面転記用	
6	レーザー墨出器	1	墨出し用・計測用	補助で使用	
7	コンベックス	2	墨出し用・計測用		
8	差し金	2	墨出し用・計測用		
9	ブラシ	2	墨出し用・計測用	コンクリート面清掃	
10	計測治具(特注)	1	主桁形状計測用		
11	デジタル水平器	1	計測用		
12	記録シート	適宜	記録用		
13	ヘッドライト	適宜	装備品		
14	干渉確認治具	1	クサビ部	干渉鉄筋確認	
15	ガムテープ	適宜	場所表記用		
16	マジックペン	適宜	場所表記用		
17	脚立	状況に応じて準備			
18	踏み台				
19	照明				
20	グラインダー				
21	発電機				

2. 計測フローチャート



※桁幅計測は原則桁端側、桁中央側の2点とするが、膨らみ等がある場合は別途考慮する



3, 墨 出 し 要 領

1) 墨出し部の清掃

- ① ブラシ等を使用し墨出し範囲の汚れ、ほこり等の除去を行う
- ② 不要な突起等がある場合はグラインダー等で平滑に仕上げる

2) UWF設置位置の墨出し

- ① 追い出し基準点の確認をする(施主と協議)
(桁端、支点、脚面等)

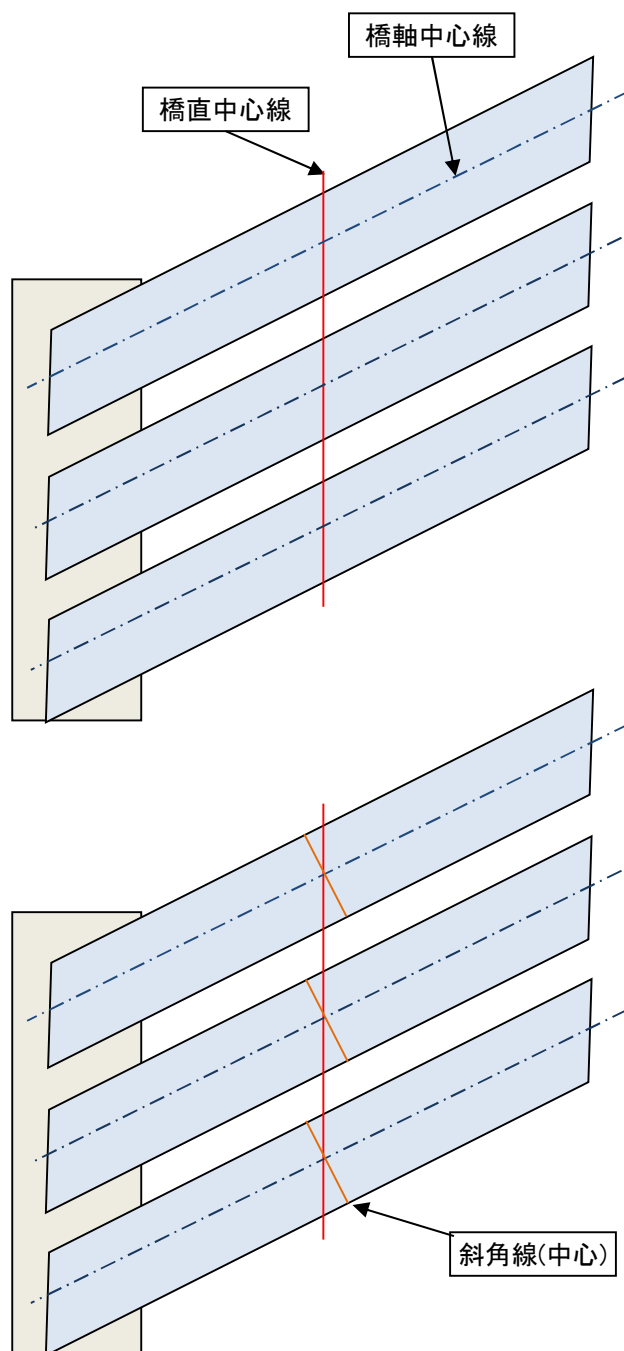
- ② 桁下面に橋直中心線の墨出しを行う

- ③ 桁下面に橋軸中心線の墨出しを行う

※フランジ幅の1/2を原則とする

※膨らみ等のレアケースは適宜に判断する

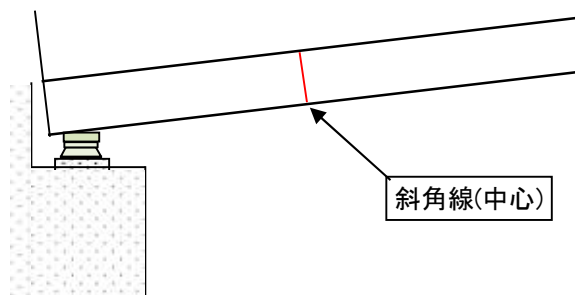
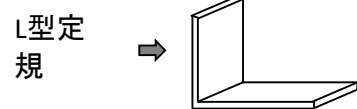
- ④ 斜角線(桁に対し直角)の墨出しを行う
(※直橋の場合は不要)



⑤ 各桁の側面にも中心線の転記を行う

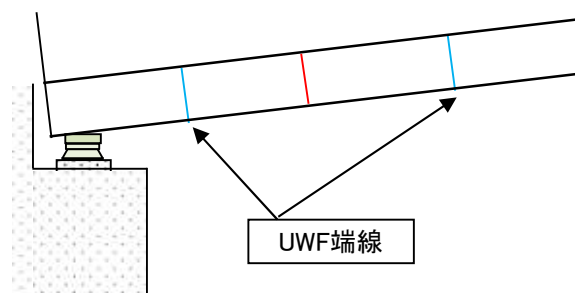
※L型等の定規を前もって準備する

※縦断勾配に対し直角とする



⑥ 桁の両側にUWFセット位置の墨出しを行う

※中心線に対し平行にする



4, 計測要領（主桁）

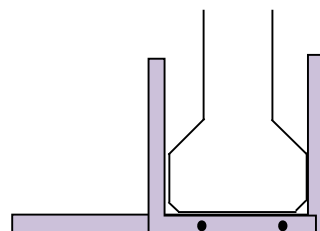
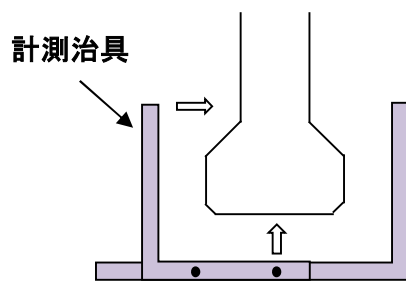
1) 桁形状計測

- ① 計測治具等を利用し計測を行う

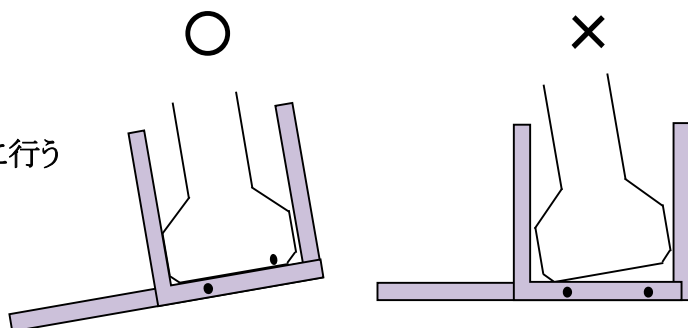
※詳細は別紙実測表に則り行う

※計測治具は前もって製作する

※計測は桁中央側から桁端に向かって記録
することを統一する。
(作図、加工等のミス防止の為)



※計測は桁なり(横断勾配は考慮しない)に行う



2) 縦断勾配の計測

- ① 計測箇所には突起、膨らみ等がある場合には
あらかじめ切削等の処理を行う

- ② 桁下面に於いて3箇所程度計測し平均値を
記載する

※計測はデジタル水平器を使用する

※単位は%表記に統一とし小数点以下1桁まで記載する

3) 横断勾配の計測

- ① 計測箇所には突起、膨らみ等がある場合には
あらかじめ切削等の処理を行う

- ② 桁下面に於いてUWFの両端部を2箇所計測し
それぞれを記載する

※計測はデジタル水平器を使用する

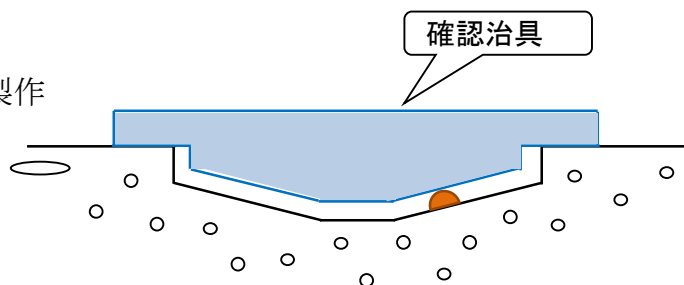
※単位は%表記に統一とし小数点以下1桁まで記載する

5, 計測要領（クサビ部）

1) 露出鉄筋干渉確認

- ① 前もってクサビ形状に合わせた確認治具を製作する

※コンパネ、ベニア、プラ板等を利用



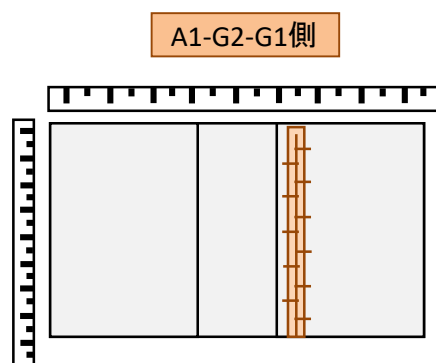
- ② 露出鉄筋の干渉を確認する

2) 露出鉄筋位置の計測

- ① 箇所ごとに場所が分かるようガムテープなどで表記を行う

- ② 縦横にスケールを張り付け写真撮影を行う

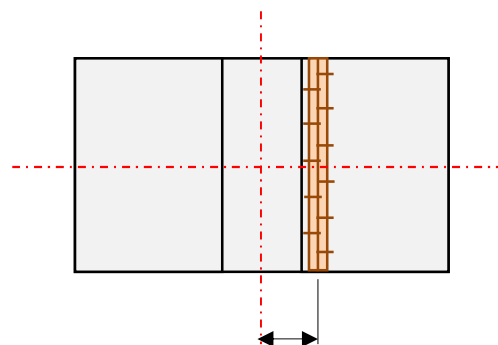
※①②は後の検証用とするため必要に応じて行う



- ③ 平面計測を行う

※記録シート参照

※クサビの中心線を基準とする



- ④ 面位置から深さの計測を行う

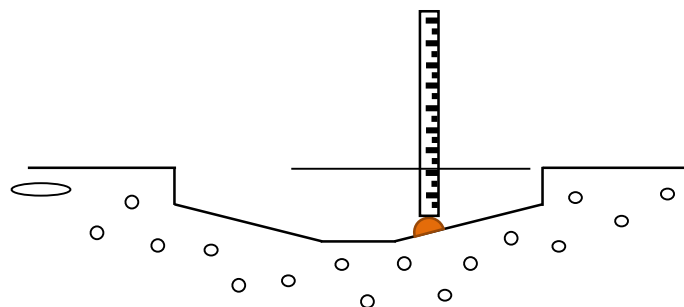
※一番浅いところを計測する

※記録シート参照

※計測記録は場所、方向を必ず明記

※干渉する部分のみを正確に表記

※鉄筋径は不要



6. 既設桁形状記録シート

位置	A - ○○	桁番	G - ○○		
----	--------	----	--------	--	--

G 側 ←

【 桁中央側 】

横断勾配		%	↖	↗
縦断勾配		%	↖	↗
			桁端	桁中

横断勾配		%	↖	↗
縦断勾配		%	↖	↗
			桁端	桁中

↑ 桁端

※UWF再上端

【 桁端側 】

→ G 側

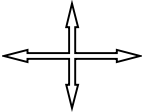
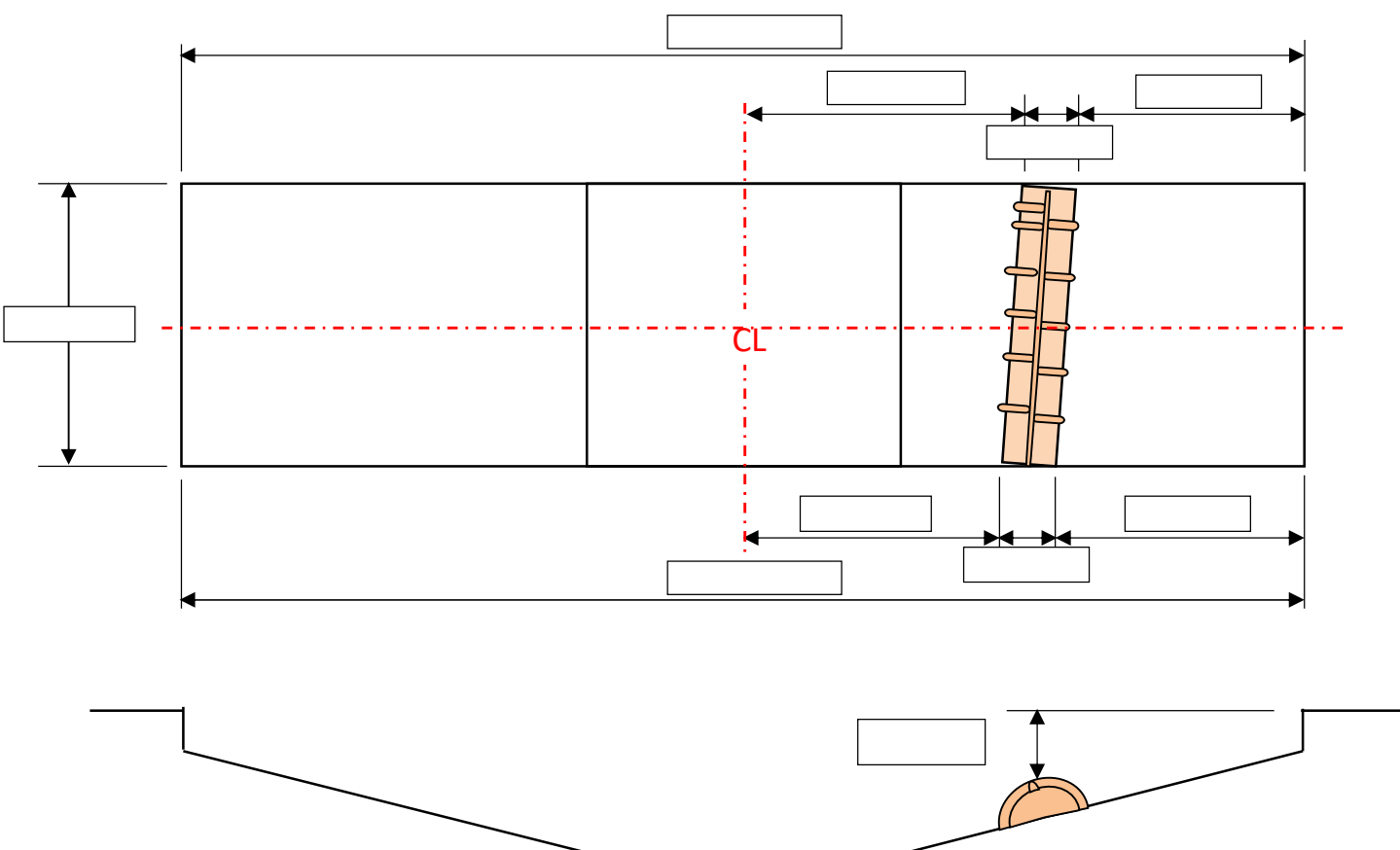
横断勾配		%	↖	↗
縦断勾配		%	↖	↗
			桁端	桁中

横断勾配		%	↖	↗
縦断勾配		%	↖	↗
			桁端	桁中

※桁番を表記

↓ 桁中央

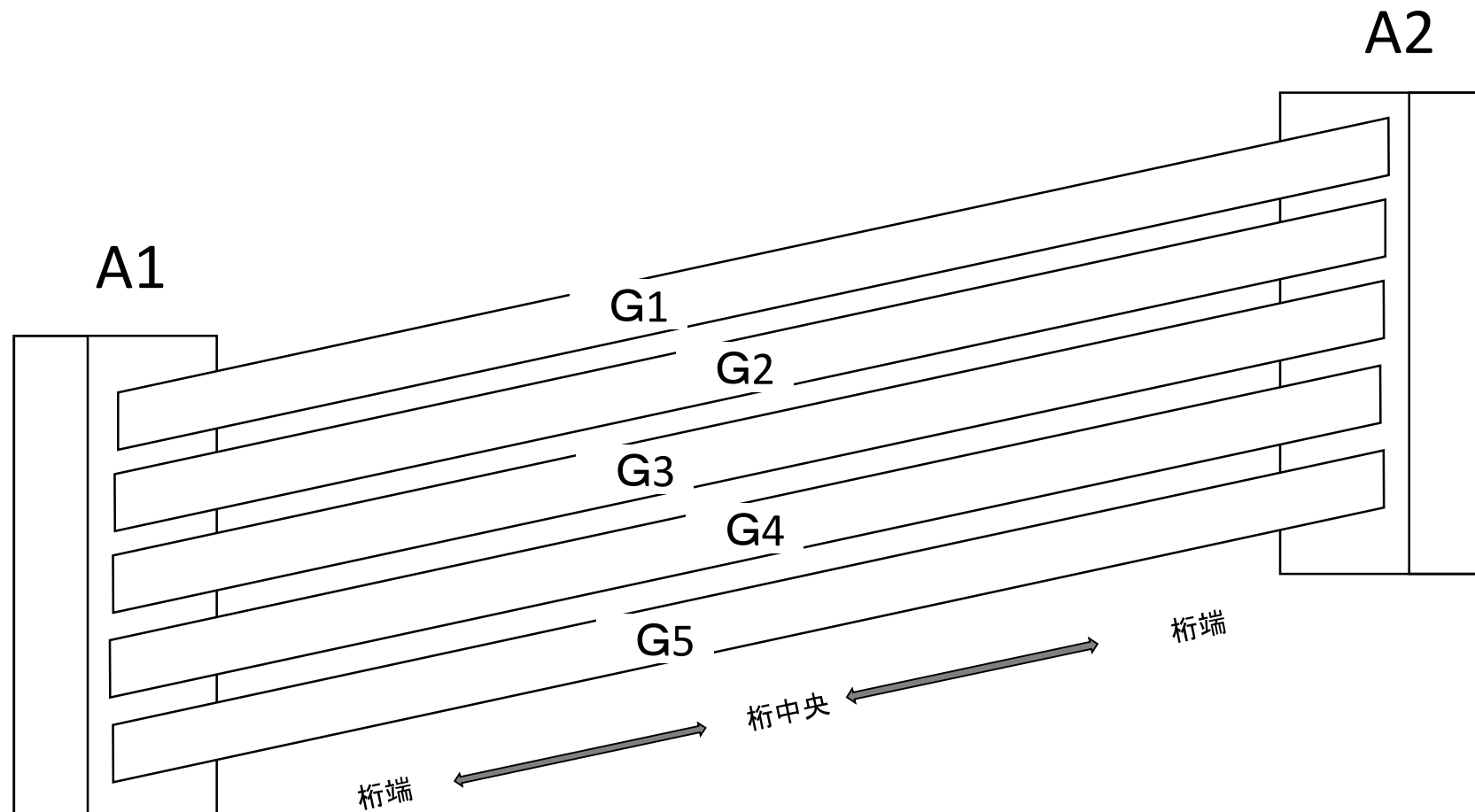
7. クサビ部記録シート

位置	A - ○○	桁番	G - ○○	方向	G○○ 側
※この略図はサンプルです、現場に合わせて描き替え願います ※橋台(脚)番号、桁番号、方向は正確に表記してください ※方向は桁番号を表記してください					
G3側  G1側 					

8. 現場平面図（略図）

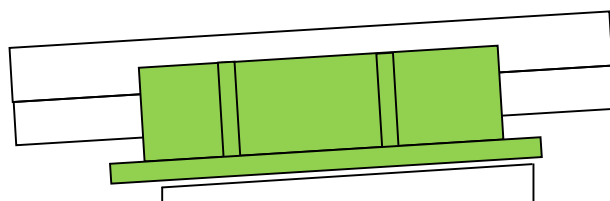
橋 梁 名

※この略図はサンプルです、現場に合わせて描き替え願います
※橋台(脚)番号、桁番号は正確に表記してください
※必ず計測データに添付願います



9, 製作(設計)概念

1) 縦断勾配



- ・原則テーパーライナーを設置する ※1% 未満不要とする

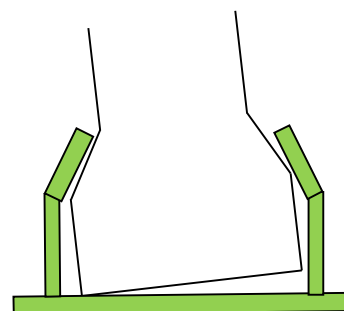
2) 横断勾配

- ・原則テーパーライナーの製作は行わない

※勾配がきつい場合はお問い合わせください。

- ・UWFは横断勾配は考慮せず製作を行う

- ・ベースは水平に設置することを原則とする



3) UWF据付精度

管 理 内 容	規 格 値	引 用 図 書
据付高さ	規定値無し（既設主桁による）	
橋軸方向のずれ （支承線上相対誤差）	±5. 0mm	支承便覧
据付中心間隔 （橋軸直角方向）	規定値無し（既設主桁による）	
水平度（橋軸）	1／100以下	支承便覧
水平度（橋直）	1／100以下	
※勾配なりに据え付ける場合は除く		